

**令和8年度実施  
新潟県公立学校教員採用選考検査  
Q & A**

新潟県教育委員会

## 実施要項等の入手について

### Q 1 実施要項等の交付場所や入手方法について教えてください。

- A 実施要項等は、新潟県教育委員会のホームページからダウンロードできます。  
(掲載開始：2月6日(金)～)

新潟県教育委員会 教員募集サイト

[https:// www.niigata.kyoinsaiyo.pref.niigata.lg.jp/](https://www.niigata.kyoinsaiyo.pref.niigata.lg.jp/)

義務教育課ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/gimukyoku/>

高等学校教育課ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kotogakko/>

また新潟県庁内15階の義務教育課と高等学校教育課で直接交付しています。

交 付 期 間：2月6日(金)～6月1日(月)

	所 在 地	電 話 番 号
義務教育課	新潟市中央区新光町4-1	(代表)025-285-5511 内線 3855・3856
高等学校教育課	新潟市中央区新光町4-1	(代表)025-285-5511 内線 3879・3880

## 出願について

### Q 2 出願に年齢の上限はありますか。

- A 一般選考の出願資格は、昭和40年4月2日以降に生まれた方です。特別選考によっては、これと異なりますので、要項をご確認ください。

### Q 3 提出書類や提出方法に不備があった場合はどうなりますか。

- A 書類に不備があった場合は、そのままでは受理できません。不備がないよう実施要項をよく読み、十分確認してください。万が一不備があった場合は、その旨を電話で連絡します。場合によっては、書類を返送及び書類の再提出の指示をさせていただきますことがあります。

また、変更や取消については、必ず義務教育課又は高等学校教育課に電話で連絡してください。(連絡先はQ1参照)

### Q 4 出願はどのような方法で行えばよいのですか。また、紙面で出願することができますか。

- A 紙面での出願はできません。電子申請のみ受け付けます。新潟県教育委員会 教員募集サイトにアクセスし、実施要項及び電子申請受検申込者ガイドを参照の上、電子申請の入力を行ってください。第1次検査1回目(春選考)は、3月9日(月)午後5時までに受信した分まで、第1次検査2回目(夏選考)は6月1日(月)午後5時までに受信した分まで有効です。また、出願時に必要な各種提出類は、電子申請後に「特定記録郵便」で別途郵送してください。郵送分は、春選考は3月9日(月)の、夏選考は6月1日(月)の消印まで有効です。なお、提出書類を直接新潟県庁に持参しても受理できません。(実施要項⑥参照)

**Q 5** 小学校教諭出願者は、出願時、採用1校目の赴任地域を上越、中越、下越、佐渡から第3希望まで申告できるとありますが、もし希望がかなわなかった場合、2校目の異動では希望がかなうのでしょうか。

**A** あくまで新採用1校目の赴任地域の希望の申告です。希望どおりにならない場合もあります。また、2校目の異動では、出願時の赴任地域の希望は考慮されません。新潟市立学校を除く新潟県全域での異動となります。

**Q 6** 日本国籍をもっていない人も採用されますか。

**A** 日本国籍を有しない人を採用する場合、任用期限を付さない常勤の講師としての採用となります。なお、給料・諸手当等の給与面及び休暇制度は教諭と同じです。

**Q 7** 現在、妊娠をしていて10月に出産予定です。今年度、選考検査を受検して、合格した場合、採用を1年間猶予することができますか。

**A** 妊娠、出産、病気、怪我等の理由で、令和9年度中に学校に勤務することが困難になった方は、採用を1年間猶予することができます。猶予を希望する理由が生じた段階で、直ちにご連絡ください。

**Q 8** 小学校、中学校教諭の出願形式Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは、どのように違うのですか。

**A** 出願形式Ⅰは、新潟市立学校を除く新潟県全域が勤務の対象となります。出願形式Ⅱ、Ⅲは、指定された地域の小学校又は中学校に勤務することになり、異動する場合にも、指定された地域の学校に限られる採用です。（実施要項<sup>2</sup>参照）なお、出願形式Ⅱ、Ⅲは、出願形式Ⅰとはそれぞれ別枠で採用します。

**Q 9** 出願形式ⅡやⅢで出願し、さらに、出願形式Ⅰも希望することはできますか。

**A** 希望することができます。出願形式Ⅱ、Ⅲで出願し、Ⅰでの採用も希望する場合には、電子申請入力の際「希望する」を選択してください。その場合、Ⅱ、Ⅲで採用されなかったとしても、Ⅰで採用されることがあります。ただし、小学校教諭、中学校教諭が対象となります。

**Q 10** 小学校教諭の出願形式ⅡやⅢで出願し、さらに、出願形式Ⅰも希望した場合、新採用1校目の赴任地域の申告はできますか。

**A** 申告ができます。出願形式ⅡやⅢで出願し、さらに出願形式Ⅰも希望した場合でも、新採用1校目の赴任地域の希望を申告することが可能です。

**Q 11** 私は、新潟市立学校の教員として採用され、現在新潟市立の小学校に勤務していますが、今後、県内の他の地域で勤務したいと考えています。この教員採用選考検査を受検することができますか。

**A** 受検することができます。新潟市立学校教員として採用され現在勤務している方は、他県の教員と同様に、身分を保ったまま、この教員採用選考検査を受検することができます。

**Q12 障害者を対象とした選考はありますか。**

**A** 一般選考とは別に、障害者特別選考があります。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が対象となります。点字、拡大文字、手話、車いす、口頭による試問等、必要に応じて対応します。

**Q13 第1次検査1回目（春選考）に小学校教諭を受検し、第1次検査2回目（夏選考）は中学校教諭を受検することができますか。**

**A** 他の出願種別と併願して受検をすることはできません。但し、第1次検査1回目（春選考）に不合格になった場合は、新たに別の種別に出願できます。

**Q14 第1次検査1回目（春選考）を受検した場合、合否の判定は第1次検査2回目（夏選考）の出願締め切り前にホームページに掲載されますか。**

**A** 合否の判定は第1次検査2回目（夏選考）の出願締め切り前の5月下旬にホームページに掲載されます。

**Q15 大学3年時特別選考を受検したいと考えています。出願にあたり、大学から推薦書と成績証明書をお願いしたいのですが、どのようにしたらよいですか。**

**A** 「大学3年時特別選考推薦書」をダウンロードし、大学に推薦書の作成と1、2年生終了時点の成績証明書（大学の任意の様式）の発行を依頼してください。  
なお、証明者厳封での提出となりますので、開封した場合、無効となります。  
大学によっては審査に一定の期間が必要になる場合があります。大学に確認するとともに早めの準備をお願いします。

**Q16 大学3年時特別選考を受検したいと考えていますが、新潟県の教員になろうか決めかねています。その場合、受検はできますか。**

**A** 大学3年時特別選考は、「選考検査に合格した場合、令和10年度から新潟県の教員になることを確約できる者」が応募資格です。なお、大学院進学者名簿への登録もできません。

**Q17 私が在籍している学校は1種普通免許状取得の課程認定を受けていないので、学校の講義とは別に、通信制大学で講義を受けて小学校教諭の免許を取得する予定です。その場合、大学3年時特別選考の受検はできますか。**

**A** 通信制大学の3年生に在籍しており、その大学が1種普通免許状取得の課程認定を受けている場合は、受検することは可能です。必要書類などは要項2の5をご覧ください。

**Q18 電子申請後に提出しなければならない書類が、提出日までに発行できないと大学から言われた場合、どうすればよいですか。**

**A** 事前に義務教育課又は高等学校教育課まで連絡をしてください。（連絡先はQ1参照）どのような事情で書類がそろわないのかお聞きします。

**Q19** 小学校教諭「英語専科指導教員」を受検予定です。どのような受検内容になるか教えてください。

**A** 第1次検査は中学校教諭「英語」と同一の検査を受検し、オーラルプレゼンテーションもを行います。第2次検査は小学校教諭として面接を行います。

**Q20** 小学校教諭「英語専科指導教員」が不合格の場合、小学校教諭として採用されることはありますか。

**A** 第2次検査において不合格の場合、出願時に小学校教諭としての採用を希望していれば、小学校教諭に採用されることがあります。電子申請入力の際、小学校教諭としての採用希望の項目から、「希望する」「希望しない」を選択してください。

**Q21** 中学校教諭「保健体育」を受検予定ですが、けがをしまい、第1次検査までに治る見込みがなく実技検査を受けることができません。出願はできますか。

**A** 出願は可能です。出願に際し、けがの程度を証明する医師の診断書を添付してください。また、出願後にけがをして実技検査を受けることができない場合は、電話連絡の上、けがの程度を証明する医師の診断書を提出してください。高等学校教諭も同様です。（連絡先はQ1参照）

**Q22** 中学校教諭「数学」を受検します。中学校教諭と高等学校教諭の「数学」の普通免許状を取得しているので、高等学校教諭「数学」を第2希望としたいと考えています。どのように手続きをすればよいですか。

**A** 電子申請の際に、第2希望で選択してください。中学校教諭と高等学校教諭に加えて、小学校教諭の普通免許状を有している、若しくは取得見込みであれば小学校教諭を第3希望とすることができます。

**Q23** 小学校教諭と中学校教諭「数学」の普通免許状をもっていて、高等学校教諭の免許状は持っていません。中学校教諭「数学」を受検する場合、小学校教諭を第2希望とすることはできますか。

**A** できません。中学校教諭と高等学校教諭の両方の普通免許状をもっていることに加えて小学校教諭の免許状をもっている場合は、小学校教諭を第3希望とすることができます。

**Q24** 特別支援学校教諭「通級指導教室担当教員」はどのような受検内容になりますか。

**A** 出願資格は、国公立学校で正規教員として1年以上の通級指導教室担当の実務経験が必要です。受検内容は、第1次検査が免除となるので、第2次検査の面接だけになります。

◆高等学校「地理歴史（地理、歴史）」「公民」について

**Q25** 高等学校教諭の出願教科について、令和7年度実施の「地理歴史・公民」が令和8年度実施では「地理歴史（地理、歴史）」「公民」に変更されていますが、筆答検査Ⅱの問題はどのような問題になりますか。

**A** 「地理歴史（地理）」に出願した場合、「地理」に関する問題のみが出題されます。他も同様です。

**Q26** 「地理歴史（地理）」に出願して採用された場合、「地理」以外の科目を担当する場合がありますか。

**A** 「地理」に出願して採用された場合、原則「地理」を担当します。ただし、配置校の状況によっては、「地理」以外の科目を担当することもあります。

◆高等学校「理科（物理、化学、生物、地学）」について

**Q27** 高等学校教諭の出願教科について、令和7年度実施の「理科」が令和8年度実施では「理科（物理、化学、生物、地学）」に変更されていますが、筆答検査Ⅱの問題はどのような問題になりますか。

**A** 「理科（物理）」に出願した場合、「物理」に関する問題のみが出題されます。他も同様です。

**Q28** 「理科（物理）」に出願して採用された場合、「物理」以外の科目を担当する場合がありますか。

**A** 「理科（物理）」に出願して採用された場合、原則「物理」を担当します。ただし、配置校の状況によっては、「物理」以外の科目を担当する場合もあります。  
「理科（化学）」「理科（生物）」「理科（地学）」に出願して採用された場合についても同様です。

◆高等学校「工業（機械、電気、工業化学）」について

**Q29** 高等学校教諭の出願教科について、「工業（機械、電気、工業化学）」とありますが、筆答検査Ⅱの問題はどのような問題になりますか。

**A** 工業基礎や工業の基礎となる自然科学分野等の問題と専門分野の問題があります。（令和7年度実施の出題と同様です。）

**Q30** 専門分野「機械」に出願して採用された場合、「機械」以外の専門分野を担当する場合がありますか。

**A** 専門分野「機械」に出願して採用された場合、原則「機械」を担当します。ただし、配置校の状況によっては「機械」以外の専門分野を担当する場合もあります。専門分野「電気」「工業化学」に出願して採用された場合についても同様です。

**Q31 教員になるか大学院に進学するか悩んでいます。第2次検査に合格した上で大学院に進学する場合、どのように手続きをすればよいですか。**

**A** 大学院に進学を希望する可能性がある場合は、電子申請入力の際、大学院進学者名簿登載の項目から「希望する」を選択して申請してください。事前の申請がない場合は登載できません。第2次検査に合格した場合は、大学院合格を証明する書類と「大学院進学者名簿登載願」を提出してください。

大学院進学者名簿に登載された者は、最少修了年限に出願することで、検査をせずに「採用候補者名簿」に登載します。ただし、最少修了年限で修了できなかった場合は、原則として「採用登録者名簿」への登載を取り消します。

## 免許状について

**Q32 特別支援学校教諭を目指しています。出願に必要な免許状を教えてください。**

**A** 特別支援学校教諭の出願には、特別支援学校教諭の普通免許状に加えて、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭のいずれかの普通免許状が必要です。これらの免許状を有しているか、令和9年4月1日までに取得見込みであることが条件となります。なお、盲学校、聾学校、養護学校教諭の普通免許状を有している場合は、特別支援学校教諭の免許状を有するものとみなします。

**Q33 出願した種別、教科について、取得見込みであった免許状を取ることができなくなった場合、どうなりますか。**

**A** 令和9年4月1日において、出願した種別、教科の免許状を所有していない場合は採用を取り消します。

## 第1次検査の免除、加点について

**Q34 現在、常勤の県費負担臨時職員をしており、第1次検査の一部免除を希望する予定です。直近の3年間（R5.4.1～出願締め切り日）で勤務校が5校あるのですが、勤務証明書は、全ての学校分を作成する必要がありますか。**

**A** 「3月以上」を満たしていれば、全ての勤務校分を作成する必要はありません。所定の用紙を必要枚数コピーして、必要な勤務校分の作成を依頼してください。

**Q35 常勤の県費負担臨時職員として令和7年の4月1日から4月24日まで約1か月、その後、10月15日から11月30日まで約2か月勤務しました。このような場合、第1次検査一部免除の対象になりますか。**

**A** 出願用書類の勤務証明書の※3に記載してあるとおり、在職期間の計算は、1月に1日でも任用されていれば1か月と数えます。したがって、この場合は4月の1か月、10月の1か月と11月の1か月の勤務で通算3か月となりますので、第1次検査一部免除の対象となります。ただし、新潟県内で県費負担の常勤の県費負担臨時職員として、勤務していることが条件です。

**Q36** 令和9年3月31日に教職大学院修了見込みです。受検に当たり、第1次検査の一部免除を申請したいと考えているのですが、どのようにしたらよいですか。

**A** 申請する場合は、「教職大学院修了見込証明書及び推薦書」をダウンロードし、大学に「教職大学院修了見込証明書及び推薦書」を作成依頼してください。なお、証明者厳封での提出となりますので、開封した場合、無効となります。

**Q37** 以前、他県の公立学校で3年以上正規教員をしていましたが、現在は新潟県内の公立中学校で常勤の県費負担臨時職員をしています。このような場合、第1次検査免除の対象になりますか。

**A** 正規教員としての勤務が3年以上なので、第1次検査免除の対象になります。ただし、休職や育児休業等の期間は勤務期間に含まれません。なお、小学校教諭は正規教員としての勤務が1年以上で対象となり、高等学校教諭は対象となりません。

**Q38** 令和8年度から他県の公立小学校で新採用として勤務していますが、新潟県の小学校教諭になりたいので、新潟県の教員採用選考検査を受検することを考えています。このような場合、第1次検査免除の対象になりますか。

**A** 対象になります。小学校教諭出願者については、正規教員として現に勤務し、令和9年3月31日までに小学校教諭として1年以上（休職や育児休業等の期間を除く）の勤務経験を見込める者としています。

**Q39** 出願時に免許状取得見込みで加点申請した場合、申請後に取り下げることができますか。

**A** 第1次検査当日まで取り下げることができます。事前に連絡するか、第1次検査当日に申し出てください。なお、第1次検査の翌日以降の取り下げは認められません。令和9年4月1日までに加点申請した免許状が取得できなかった場合は、第2次検査に合格していても、内定及び採用候補者名簿への登載を取り消します。加点申請は、慎重にお願いします。

**Q40** 免許状に関する加点を申請するため、加点に関わる教員免許状取得見込証明書の原本を大学に申請したのですが、大学から見込証明書は7月以降でないと発行できないと言われました。代わる書類として、学力や履修単位を証明する書類は発行できると言われました。どのようにしたらよいですか。

**A** 教員免許状取得見込証明書が発行できない場合、それに代わるものとして、学力や履修単位を証明する書類（大学任意の様式）を発行していただき、提出してください。なお、見込証明書が発行され次第、すみやかに提出してください。

**Q41** 司書教諭に必要な単位を取得しており、これから修了証書発行の申請を行う予定です。書類提出の締切日に修了証書が間に合いませんが、加点対象となりますか。

**A** 加点対象とはなりません。出願時に修了証書がなければなりません。

**Q42** 中学校教諭「英語」を受検するときに、第1次検査の加点対象となる「その他の資格・検定試験」には、どのようなものがありますか。

**A** 対象となる「その他の資格・検定試験」は、次のとおりです。

ケンブリッジ英語検定	180以上
GTEC	1350以上
IELTS	7.0以上
TEAP	375以上
TEAP CBT	800以上
TOEIC L&R/TOEIC S&W ※TOEIC L&RのスコアにTOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定	1845以上

**Q43** 小学校教諭を受検するときに、第1次検査の加点対象となる英語の資格について「その他の資格・検定試験」には、どのようなものがありますか。

**A** 対象となる「その他の資格・検定試験」は、次のとおりです。

	加点15点	加点10点	加点5点
ケンブリッジ英語検定	180以上	160以上	140以上
GTEC	1350以上	1190以上	960以上
IELTS	7.0以上	5.5以上	4.0以上
TEAP	375以上	309以上	225以上
TEAP CBT	800以上	600以上	420以上
TOEIC L&R/TOEIC S&W ※TOEIC L&RのスコアにTOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定	1845以上	1560以上	1150以上

**Q44** 小学校教諭に出願する予定です。中学校教諭「英語」と「数学」の普通免許状も取得見込みです。この場合、20点の加点と考えてよいですか。

**A** 中学校教諭「英語」の普通免許状で10点、「英語」以外の中学校教諭の普通免許状で10点、合計で20点の加点となります。但し、加点の上限は30点です。

**Q45** 現在、小学校教諭の普通免許状を所有しています。令和8年度末には、中学校教諭「英語」の普通免許状を取得見込みで加点申請をする予定です。中学校教諭「英語」の普通免許状が取得できない場合はどうなりますか。

**A** 加点申請した免許状が令和9年4月1日までに取得できなかった場合は、第2次検査に合格していても、内定及び採用候補者名簿への登載を取り消しますのでご注意ください。なお、免許状に関する他の加点対象となる要件も同様です。

## その他

**Q46** 実施要項には、「災害発生等により、会場が変わることがある」と記載されていますが、問い合わせはどこにすればよいですか。

**A** 変更点は新潟県教育委員会 教員募集サイトでお知らせします。（実施要項⑥の2参照）問い合わせがある場合は、義務教育課又は高等学校教育課に連絡してください。（連絡先はQ1参照）

**Q47** 第1次検査の持ち物は何ですか。

**A** 「第1次検査受検票」送付の際に通知します。

**Q48** 中学校教諭「保健体育」や高等学校教諭「保健体育」では、受検者全員が4種目の実技検査を受けるのですか。

**A** 4種目全てを検査します。

**Q49** 小学校教諭を受検しますが、第2次検査の日程を見ると、面接が4日間予定されています。自分の検査日はいつ分かるのですか。また、検査日時の希望はできますか。

**A** 検査日時の希望はできません。7月下旬発送予定の第1次検査結果通知の際に、第2次検査受検予定者に対して検査日を指定し、受付時間等を書面でお知らせします。

**Q50** 新潟県教員採用選考検査に出題された過去問題を見たいのですが、どのようにしたらよいですか。

**A** 第1次検査の問題は、新潟県庁1階の行政情報センター（025-280-5273）で公開しており、問題と解答例を過去5年分について閲覧できます。また、有料でコピーできます。

**Q51** 第1次検査（春選考）の小学校教諭で使用する文部科学省の教員資格認定試験の過去問題は閲覧することはできますか。

**A** 文部科学省のホームページで閲覧できます。  
（参照：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/nintei/main9\\_a2.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/nintei/main9_a2.htm)）

**Q52** 過去の選考検査の受検者数、採用者数について教えてください。

**A** 新潟県教育委員会 教員募集サイトで閲覧できます。  
[https:// www.niigata.kyoinsaiyo.pref.niigata.lg.jp/](https://www.niigata.kyoinsaiyo.pref.niigata.lg.jp/)